

カキ生育情報

千葉県
平成25年8月号

平成25年7月の気象

平成25年7月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第2及び第3半旬で平年を大きく上回った。月平均気温は24.6℃で、平年及び前年より0.3℃高かった。

降水量は第4半旬を除く全ての半旬で平年を下回り、第2及び第3半旬には降雨がなかった。月合計は57mmで、平年の30%、前年の55%であった。

日照時間は第2～第4半旬で平年を上回った。月合計は188時間で、平年の107%、前年の95%であった。

表1 平成25年7月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	22.3	22.7	22.3	16	38	86	16	21	14
2	25.7	23.2	23.0	0	43	11	50	23	27
3	26.5	24.3	25.1	0	37	1	40	25	24
4	23.4	24.6	24.8	34	25	7	30	28	43
5	24.0	24.8	23.0	1	22	1	19	33	19
6	25.6	25.7	27.2	6	24	0	33	44	71
平均/計	24.6	24.3	24.3	57	188	104	188	175	198

果実の発育

7月30日現在のカキの果径は表2に示した。横径は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ5.51cm、5.48cm、「富有」が5.43cmであった。本年の横径は「西村早生」が平年及び前年よりそれぞれ5%、8%程度大きかった。「松本早生富有」は平年並、前年並の大きさであった。「富有」は平年より3%小さく、前年と同程度であった。

縦径は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ4.00cm、4.15cm、「富有」が4.15cmであった。本年の縦径は「西村早生」が平年と同程度であったが、前年より4%大きかった。「松本早生富有」は平年及び前年よりそれぞれ4%、8%程度大きかった。「富有」は平年と同程度で、前年より10%程度大きかった。

果形指数は「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.38、1.32、「富有」が1.31であった。本年の果形指数は「西村早生」が平年より大きく横長の傾向であり、「松本早生富有」及び「富有」が平年より小さく、縦長の傾向であった。

本年の果実の発育は「西村早生」では平年よりやや進んでいるが、「富有」では平年よりやや遅れている。着果量は3品種ともに平年並である。いずれの品種も、今のところ目立った病害虫の発生はない。

表2 果実の発育（7月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	5.63	5.21	4.97	3.98	4.04	3.95	1.41	1.29	1.26
	暖地園研	5.39	5.32	5.27	4.01	3.99	3.75	1.34	1.33	1.41
	平 均	5.51	5.27	5.12	4.00	4.02	3.85	1.38	1.31	1.34
松本早生富有	市原市	5.45	5.48	5.37	4.23	3.89	4.07	1.29	1.41	1.32
	暖地園研	5.51	5.59	5.50	4.07	4.09	3.63	1.35	1.37	1.52
	平 均	5.48	5.54	5.44	4.15	3.99	3.85	1.32	1.39	1.42
富 有	暖地園研	5.43	5.60	5.46	4.15	4.21	3.77	1.31	1.33	1.45

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2012年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2012年の平均

8～9月の作業

摘 果

「西村早生」では、8月下旬頃(着色開始期)から仕上げ摘果を行う。果頂部が凹んだ果実や不整形の果実、着色が遅いか着色ムラのある果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。

枝管理

2次伸長枝は、8月下旬～9月上旬頃に、充実したものを除き全て摘除する。

秋雨は汚損果の発生を助長する。汚損果の発生を防ぐため、果実に重なる葉や枝は摘除し、果実の重みで地面近くに垂れ下がった側枝などは、適宜、枝支えやつり上げを行う。

かん水

夏季の高温及び過乾燥が続くと、根の生育が停止して果実肥大が抑えられ、熟期の遅れ、着色不良、糖度不足、翌年の着花量不足などが生ずるので、かん水が必要である。特に、乾きやすい園、作土の浅い園では早め、多めに行いたい。

収 穫

9月中旬頃から「西村早生」の収穫が始まる。カラーチャートを活用して適熟果の収穫に努めるとともに、果実はほんの小さな傷でも黒変しやすいので、ていねいに扱うことを心がける。また、渋果の混入を防ぐために、必ず渋果判定機による選別を行う。

病虫害防除

気温が下がり秋雨が始まると、うどんこ病や落葉病、炭疽病の発生が多くなる。防除適期は8月下旬～9月上旬である。

9月上旬～中旬にカキノヘタムシガ、フジコナカイガラムシの防除のため、バンド誘殺を行う。また、カキノヘタムシガの被害果は地中に埋没する。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8月中旬以降が防除時期である。

防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に基づいて行う。

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>